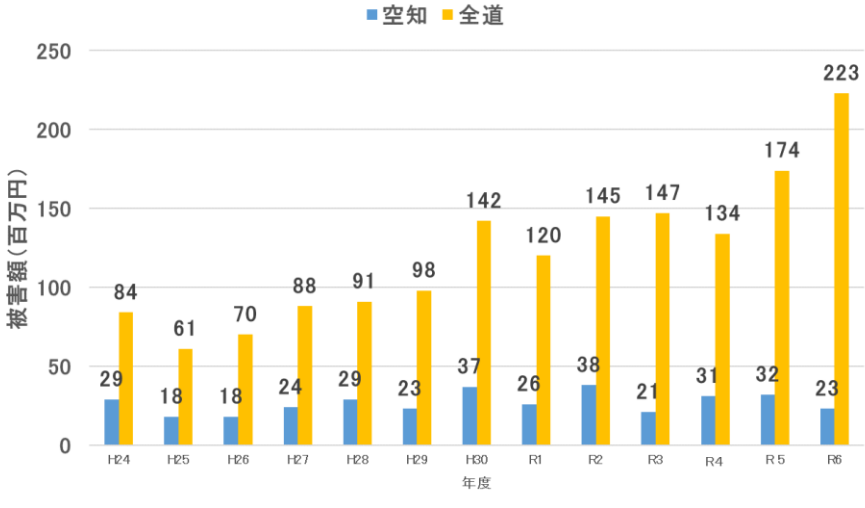
資料2

アライグマの被害状況と対策について

アライグマによる農業等被害額の推移（全道と空知）

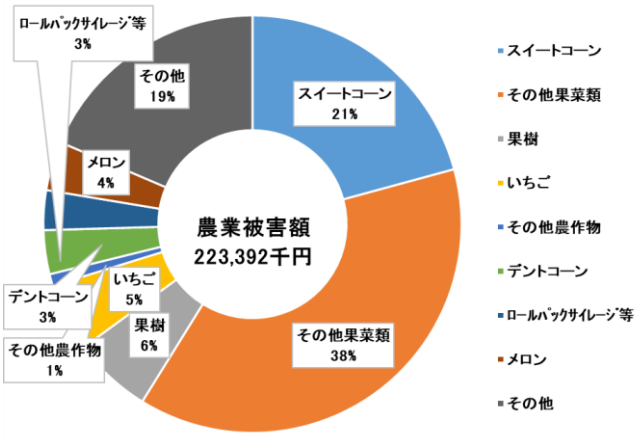


全道：223百万円

空知：23百万円
（全道の約10.3%）

被害の大きい農作物（令和6年度）

全道

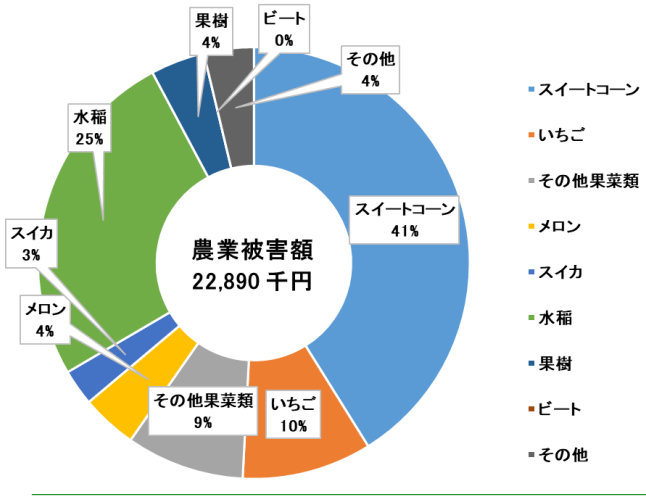


令和6年度

作物名	被害額（千円）
スイートコーン	46,377
その他果菜類	85,066
果樹	13,684
いちご	11,755
その他農作物	2,047
デントコーン	7,595
ロールパックサイレージ等	6,876
メロン	8,500
その他	41,492
計	223,392

被害の大きい農作物（令和6年度）

空知管内

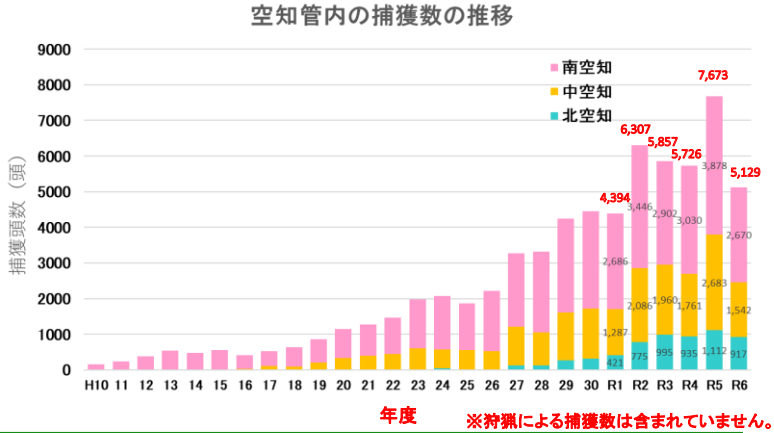


令和6年度

作物名	被害額（千円）
スイートコーン	**9,413**
いちご	**2,224**
その他果菜類	**2,026**
メロン	**955**
スイカ	**620**
水稲	**5,869**
果樹	**928**
その他	**855**
計	**22,890**

空知管内の捕獲数の推移（管内地域別）

※参考　全道捕獲数　R5：35,785頭　R6：26,314頭



※狩猟による捕獲数は含まれていません。

令和7年（2025年）アライグマ春期捕獲推進期間の設定とご協力のお願い

○アライグマ春期捕獲推進期間：令和8年3月1日～6月30日

道では、外来種であるアライグマによるあつれき軽減を目的に、効率的な捕獲が期待できる春期における捕獲を推進するため「アライグマ春期捕獲推進期間」を設定し、市町村に対し、当該期間内での積極的な捕獲実施についての協力をお願いしています。

春の妊娠期から授乳期の間にメスを捕獲することで、夏以降の農業被害や個体数の増加を効果的に抑制することが期待されます。

アライグマ捕獲プログラム広域展開モデル事業

令和5年(2023 年)3月10日
北海道アライグマ捕獲プログラム策定

アライグマ根絶モデル実証事業
アライグマ捕獲事業
のデータを活用

～特徴～

1　捕獲の進め方
2　技術マニュアル
3　目標設定の方法
4　課題把握と改善方法

捕獲に関する
総合プログラム

アライグマ捕獲プログラム①

アライグマ捕獲プログラム②